

## 1年自然科学コース校外研修（藤前干潟）

5月11日(火)、自然科学コース1年生が恒例の藤前干潟の研修に出かけました。午前中は雨が降っており午後からの干潟実習が心配されましたが徐々に天候が回復し、予定通り干潟に入ることができました。稲永ビジターセンターでDVDによる学習、名古屋市野鳥観察館で望遠鏡を使った野鳥観察、藤前活動センターではガイド（ガタレンジャー）の誘導にしたがって干潟に入り、そこに棲む生き物を実際に穴を掘って観察しました。以下参加生徒の感想です。



干潟のガイドさんの説明を受ける

### 【生徒の感想】

- 干潟生物の役割や最近問題になっている赤潮、青潮の話にすごく興味を持ちました。人間生活排水によっておこるものだと初めて知り、干潟は自分たちのせいで危機に陥っていることがわかりました。今、この現状を知り、気づくのが遅かったと思う反面これからの自分の行動や自然環境に対しての姿勢を改めていかないと干潟にも迷惑がかかるので、ゴミをあまり出さないようにし、水に油とか汚れた水も出さないようにしたいです。
- この研修を通じて、干潟の重要性を改めて知ることができました。実際に干潟にふれることによって、自分たち人間の生活にも深いかかわりを持っていることに気がきました。そのように考えていくと、自分たちの生活が干潟のこれからの姿を左右させてしまうと思い、自分を見直す機会になりました。
- 生物を捕まえてみて、初めて見たものがたくさんいて驚いたので、自分でも調べてみたいです。（ガイドさんの）説明がわかりやすく、どれが何かよくわかった。たくさんの生物が生息していて、干潟が生物にとって大切な場所であるということがよくわかりました。
- 干潟は栄養分を分解してくれるということも知り干潟は我々人間にとって必要だと思いました。その干潟には様々な生き物が生活しています。その干潟をこれからも未来に残していきたいと感じました。そのためには名古屋に住んでいる人だけではなく、僕たちも意識して生活していかなければいけないと思いました。



干潟研修の様子



干潟に棲む生物の観察



野鳥館にて野鳥の観察

数多くの渡り鳥を観察し干潟の重要性を学ぶ。